

大規模水田作における経営問題

—〇〇に着目して—

<1 行アキ>

I はじめに

<1 行アキ>

見出しは「I」、「1」、「(1)」、「1」の順とする。見出しはすべて MS ゴシック, 10.5 ポイント

タイトルは MS ゴシック, 10.5 ポイント, 執筆者名・所属は本文に記載しない

近年, 我が国の大規模水田作経営^{注1)} においては

文献の引用については, 後掲「文献の引用方法」を参照

他の会員から見て意味のない付記をしないこと

<1 行アキ>

注 1) 本論にいう大規模水田作とは・・・。また鈴木 (2005) によれば・・・

<1 行アキ>

[引用文献]

<1 行アキ>

地球開発機構(2008)「開発と農業」, <http://www.earthag.org/>(2010年7月12日参照).

伊藤花子(1997)『書名』出版社名.

佐藤二郎(2003)「章名」編著者名編著『書名』出版社名: 3-15.

鈴木太郎(2005)「題名」『雑誌名』42(2): 10-15.

高橋和子(2009)・・・

Tanaka, Y. (1999) The ----- in Japan, *Journal of-----*, 38(4): 21-32.

World Agricultural Organization(2008) Outlook of Asian -----, <http://www.worldag.org/>(accessed on July 12,2010).

注は「注 1)」の形式とし, 本文中は MS ゴシック、右上 1/4 画で記載, 注は各節末にまとめて記載する。2 行目以降は全角 2 字下げ

引用文献の記載については, 後掲「引用文献リスト」を参照

<1 行アキ>

II 課題と方法

<1 行アキ>

1 本論の課題

<1 行アキ>

A 市における大規模水田作経営の経営動向については第 1 図に示した。同図によれば・・・

図表番号は「第 1 図」, 「第 1 表」とし, 本文中では MS ゴシックで記載

本文は, 指定のないところでは, 和文字は MS 明朝, 英数字は Times New Roman, 10.5 ポイント, 23 文字×51 行×2 段組。句読点は「,」, 「。」を用いること。英文と数字は 1 画 2 字 (半角英数字) が原則

【図表別紙】

第1表 A市B地区における大規模水田作経営の動向

(単位:戸, ha)

区分	1995年	2000年	2005年
20ha以上経営の戸数	10	14	22
20ha以上経営の経営耕地面積	300	590	1,150
うち借地面積	240	510	1,025

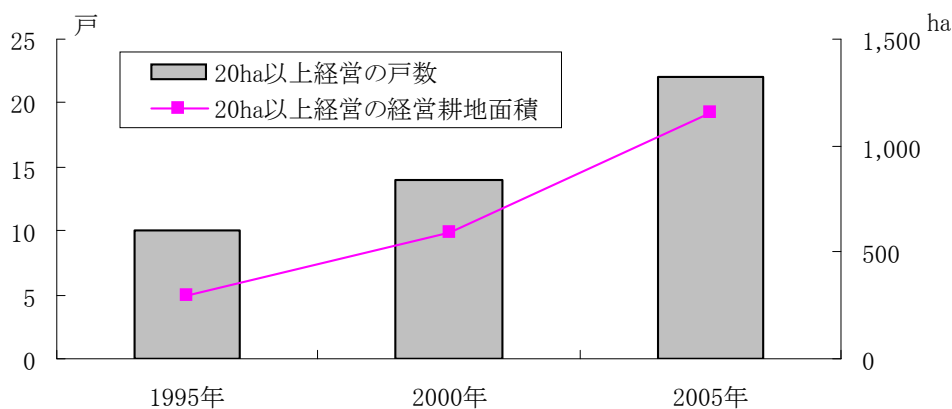
資料:農業センサス各年度版。

注:1)A市B地区は, ……。

2)表中の作付面積の数値は, ……………。

3)……………。

(表の標題の書式は「第1表」とする。最上部の罫線は二重線を用いる。資料または出典の書式, 注の書式等は例示の通り。表はできる限り縮約に努めること)



第1図 A市B地区における大規模水田作経営の動向

資料:〇〇統計。

注:……………であり, ……となっている。

(図の標題の書式は「第1図」とする。資料または出典の書式, 注の書式等は例示の通り。図はできる限り縮約に努めること)

文献の引用方法

本文、注記、図表等で文献を引用・参照するときには、著者の姓と引用文献の発行年を記載する。著者が2名の文献は、著者の姓を「・」ないし「and」でつなげる。著者が3名以上の文献は、筆頭著者の姓のみを明記し、第2著者以降の姓は「ら」ないしは「et al」として省略する。

引用文献リスト

引用文献リストは、「引用文献」の見出しの後に一括して記載する。リストは、著者姓 (family name) についてアルファベット順とし、同一著者の文献が複数あるときは、刊行年の古いものを先に記載する。また、同じ著者による同一刊行年の文献が複数ある場合は、刊行年の後に a, b, c, … を付して区別する。なお、著者が複数のときには著者名を「・」ないし「and」でつなぐ。

和文では全角のコンマ「,」と全角のピリオド「.」を用い、半角のコンマと半角のピリオドは使用しないものとする(但し、URL は除く)。また、フォントについては、和文字は MS 明朝、英数字は Times New Roman とする。

表記の仕方は以下の例示に従う。

(1) 和文雑誌の引用

有本寛・中嶋晋作・富田康治(2014)「区画の交換による農地の団地化は可能か?—シミュレーションによるアプローチ」『農業経済研究』86(3): 193-206. <http://doi.org/10.11472/nokei.86.193>.

高橋大輔(2011)「日本の食品関連産業による海外進出と撤退の動向」『2011 年度日本農業経済学会論文集』: 134-141.

※ 受理済だが掲載巻ページ不明の場合には、『農業経済研究』(近刊)

※ オンラインでも入手可能な場合には、doi をつける。

(2) 和文書籍の引用

川島丈太郎(2006)『戦前期日本の食糧政策』民政出版。

マックス・ウェーバー(1989)『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』(大塚久雄訳) 岩波書店。

※ 外国人著者名がカタカナ表示の場合は、姓と名の間に「・」を入れる。また、複数著者の場合は著者に日本人が含まれる場合でも「,」でつなぐ。

(3) 和文書籍(編著)の章の引用

島田晴彦(2002)「アグリビジネス分析の視点と方法」持田直弘・南太郎編著『アグリビジネスの計量分析』農業大学出版会: 3-15.

※ 編著者にカタカナ表示の外国人名が含まれる場合には、(2)の※に準ずる。

(4) 外国語雑誌の引用

Maru, T. (2016) How Social Customs Restrict EU Accession Effects on Female Labor Participation in Agricultural Production in Rural Adana, Turkey: A Simulation Analysis, Japanese Journal of Rural Economics 18(1): 17-31. <http://doi.org/10.18480/jjre.18.17>.

Kunimitsu, Y., T. Iizumi, and M. Yokozawa (2013) Is Long-term Climate Change Beneficial or Harmful for Rice Total Factor Productivity in Japan: Evidence from a Panel Data Analysis, Paddy and Water Environment 12(2): 213-225. <http://doi.org/10.1007/s10333-013-0368-0>.

※ 受理済だが掲載巻ページ不明の場合には, Japanese Journal of Rural Economics (forthcoming)

※ オンラインでも入手可能な場合には, doi をつける。

(5) 外国語書籍の引用

Geode, C. and T. R. Kompson (1983) *Applied Production Economics: Theory and Application*, New York: APOT Press.

(6) 外国語書籍 (編著) の章の引用

Berogman, T. E. and W. K. Destwanger (2005) *The Role of Information in Applied Consumption Analysis*, in A. K. Weisman, ed., *Economics of Consumer Behavior*, London: White University Press, 111-133.

※ 編者が複数の場合は全員の名前を連記し, ed. を eds. に変更する。

(7) ディスカッション・ペーパー

山下一仁(2009) 環境と貿易の経済分析, RIETI Discussion Paper Series 09-J-028, 東京: 独立行政法人経済産業研究所, <https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/09j028.pdf>.

Mobarak, A. M. and Rosenzweig, M. (2012) *Selling formal insurance to the informally insured*, Yale University Economics Department Working Paper No. 97, New Haven: Department of Economics, Yale University. <https://ssrn.com/abstract=2009528>.

※ オンラインでも入手可能な場合には, URL をつける。

(8) WWW に掲載されている情報 (掲載年が不明な場合は省略可)

農林水産省(2008)「食料自給率の部屋」, <http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/index.html> (2009年12月1日参照).

U.S. Department of Agriculture (2014) *Agricultural Act of 2014: Highlights and Implications*, <http://www.ers.usda.gov/agricultural-act-of-2014-highlights-and-implications.html> (accessed on October 1, 2014).

本表記方法は, 農業経済学関連学会編集委員長会議の決定に従ったものである。